

砺波市議会 8月定例会での市政一般質問

(注) 一般質問は8項目で、うち6項目を掲載。質問・答弁は全文ではなく、要旨のみ掲載しています。

●城端線を活かした観光振興策について

①油田駅・東野尻駅にスロープの取り付けをJR西日本に要望することを問う。

市内のJR城端線の3駅のうち、砺波駅以外の油田駅、東野尻駅は、スロープが設置されておらず、ベビーカーや車いすなどの利用がしづらい状況にあることは承知している。油田駅、東野尻駅で車いすなどを利用される場合は、事前にJR西日本に連絡していただくことで介助が受けられ、乗り降りすることができる体制となっている。

今後、城端線・氷見線の再構築事業が進捗していくことを見据え、油田駅、東野尻駅の利用状況等を踏まえ、引き続きJR西日本に対して働きかけたい。

②「べるもんた」の10周年記念事業及び本市の資源と組み合わせた観光客誘致について問う。

観光列車「べるもんた」は、平成27年の運行開始以来、沿線地域の魅力発信や観光客誘致に大きく貢献しており、本年で10周年を迎える節目となっている。記念イベントは、JR西日本旅客鉄道と、沿線4市で構成する「城端線・氷見線活性化推進協議会」において、10月10日の運行記念日に臨時列車を運行し、JR砺波駅及びJR氷見駅において記念セレモニーを実施する予定で、詳細は調整中である。

本市として、観光案内や食を通じて本市の魅力を知っていたらしくとも、四季折々の花や祭りなどとあわせて情報発信することで、更なるリピーターの獲得や交流人口の拡大につなげたい。

●観光イベントの推進策について

①庄川観光祭やとなみ夜高まつりで実施した、有料席の実績及び効果について問う。

本年度新たに、富山県及び本市の補助金を活用し、持続的な祭りの開催に向け有料での特別観覧席の設置やグッズの販売、キッチンカーエリアの設置等を実施し、利用者からも好評であったところであり、また、観光振興や地域経済への波及効果として、イベントの財源確保にも貢献したものと認識している。

具体的には、「となみ夜高まつり」では、特別観覧席やオリジナルグッズの販売、協力金と合わせて約50万円の収入があり、また、「庄川観光祭」では、花火の特別観覧席や夜高の特別観覧席の販売、個人協賛や協力金の30数万円の収入があった。

②年間を通した観光イベントにするために、有料化に向けた推進策を問う。

持続的に実施するためには、「自主財源の確保」が必要であり、有料化も一つの方法と考えており、その際には、イベントの規模や価値、来場者の満足度や特別感などを踏まえた上で判断が必要である。

10月3日から開催される「2025となみ夢の平コストウォッチング」には、主催する実行委員会において、新たに入場料を徴収されると伺っている。

本市として、有料化は持続可能な取組みの重要な視点のひとつとして認識しており、主催団体や関係者などと連携を図りながら、必要な助言など支援に努めたい。

●持続可能で地域に根差した青少年の育成について

①青少年が学びと地域貢献を同時に体験できる実践的なプログラムについて問う。

本市の強みを生かした体験的プログラムは、学校において、ふるさと教育の一環としてチューリップ球根の植込み・掘取り体験や郷土の伝統・文化・歴史への理解を深める『ふるさと「となみ」探訪事業』を実施している。

また、地域行事や祭りなどを通して子どもたちを育まれているほか、市の三世代交流事業を活用し、左義長の組み立てから体験し文化を学ぶといった、郷土愛を深める取組みをされている事例もある。

引き続き、青少年育成砺波市民会議の会員団体、委員の皆様にもご意見を伺いながら、地域の青少年を健全に育てる環境づくりを推進するとともに、ふるさと砺波への郷土愛をはぐくむプログラム等を進めたい。

②家庭、地域社会全体の健全な発展に不可欠な役割を果たしている親学びについて問う。

本市では、親学びの取組として、小中学校PTAと連携し実施している親学び講座の開催支援や図書館での子育てに役立つ図書の企画展示、広報などでの特集記事の掲載などの普及啓発に取り組んでいる。

また、現在、「自分を高める力」や「やりぬく力」「粘り強く頑張る力」などの自分を豊かにする力「非認知能力」について、PTAを通じて親と子が共有できるよう周知を図っている。

今後も、親学び講座においてファシリテーターを務める「親学びスーパーリーダー」や「推進リーダー」など、担い手の確保・育成に努めたい。

後援会だより

第19号 R7.10.1

向井みきお

誠実で常に感謝の気持ちを持って「となみ」のために尽くします



HP
URL: <https://www.mukai-mikio.jp/>



議員5年目。これからも皆さまの声を大切にし、市民目線で丁寧かつ柔軟に精進してまいります。
どうぞよろしくお願ひいたします。

中学校再編計画について

年度	スケジュール
R7	再編計画
R8	基本計画
R9	
R10	
R11	開校準備委員会(R11・12)
R12	建築・造成工事(R12~14)
R13	
R14	
R15.2 3	新校舎建設完了 3中学校の閉校
R15.4	新中学校の開校 3中学校:解体工事

開校準備委員会にて検討

教職員や保護者、地域住民、児童生徒が参加

- ①教育目標の企画立案
- ②通学路の安全対策、遠距離通学者に対する通学支援
- ③PTA組織の再編など

●現4歳が中1・5歳が中2・6歳(小1)が中3

R15 年度	生徒見込み数			
	1年	2年	3年	合計
新中学	135	150	158	443
出町中	162	163	171	496



指定避難所になっている小学校2校(東部小・出町小)に防災井戸の整備へ

●既存の井戸に電動ポンプで蛇口、手押しポンプを設置して、災害時の生活用水を確保。
(モデル事業として運用方法を検証)

●トイレや食器洗い、洗濯などの用途を想定

停電時でも水をくみ上げられる
手押しポンプは東部小に設置



9/3 文教民生病院常任委員会

質問	回答
認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金について	「認知症高齢者グループホーム」2施設に対するもので、1施設は施設の老朽化に伴う大規模修繕、1施設は消雪装置の整備及び中庭への避難経路の段差解消を実施する。
空き家再生等推進事業補助金について	空き家を活用し、地域活性化や地域の関係人口の増加を目的とした事業に取り組む事業者に対し、空き家の改修等に係る経費を補助する。
中学校再編計画について	今年度に「砺波市立中学校再編計画」を策定後、基本計画や基本設計に加え、農振除外や農地転用などの諸手続き、用地選定及び用地買収、建築工事などを実施するため、令和15年4月を開校目標とした。
砺波総合病院コスト適正化プロジェクトチームの動きについて	現在39項目、医薬品・診療材料の在庫管理、検査項目や手順の見直しによる材料費の適正化などに取り組んでいる。 今後は「コスト適正化計画」を策定し、実践を通じて削減効果を評価していく。

皆さまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

後援会事務所 ☎ 0763-23-5166 ✉ muka185@amber.plala.or.jp



主な活動報告

6/18 文教民生病院常任委員会

砺波市役所

10:00～



①地域防犯カメラ設置事業費補助金②太陽光発電設置設備事業費補助金③砺波向山健民公園内の健民広場の夜間照明施設④砺波総合病院の24年度収支などについて質問しました。

6/21 油田地区自主防災会「事前模擬訓練」

油田ふれあい体育館

9:00～



避難所の開設や運営訓練、炊き出し訓練を実施。①良かったこと②問題点③次にすること・改善・解決を分析し、9月の砺波市防災訓練に活かしていきたい。

6/25・26 砧波市・むかわ町両市町交流協会設立10周年記念交流会

北海道むかわ町



砺波市・むかわ町両市町交流協会設立10周年記念交流会がむかわ町で開催され、砺波市から田楽流行燈と砺波ブランドの“金屋石”が贈呈されました。

6/27・28 砧波市国際交流協会研修旅行

大阪関西万博



健康とウェルビーイングのテーマウイーク期間(6/27～29)に富山県が展出。床面も含め5面の映像と立体音響を活用し、イメージ空間で寿司と地酒を満喫しました。

7/1 令和7年度青少年育成富山県民会議総会

富山県庁

10:00～



富山県こども総合サポートプラザ所長佐原憲英氏から「こどもの「じりつ」って?一相談支援の現場で感じていること」との講演を伺いました。

7/5 第21回砺波市消防団消防操法大会

種田グラウンド

8:30～



「自分たちのまちは、自分たちで守る。」という精神で、日夜地域の消防活動に従事している消防団員が、消防操法技術の向上、地域防災体制の強化として操法大会が開催されました。

7/13 油田ふれあい広場周辺美化活動

油田ふれあい広場

6:00～



このグラウンドはゲートボールやペタンクなどの活動や運動の場として地域の皆さんに愛されています。今日は各委員会の皆さんに協力いただき、大変助かりました。

7/28・29 第2回市町村長等・議会議員特別セミナー(オンライン受講)

砺波市役所



神戸市長 久元喜造氏より「眞の意味での持続可能な都市を目指して」、文芸評論家 三宅香帆氏、小説家宮島未奈氏より「地域の魅力を引き出す文学の力」をテーマにセミナーを受講しました。

7/30 南砺市議会・砺波市議会議員研修会

砺波市内

14:30～



①スマートインター柳瀬工業団地企業の立地を促進②株KOKUSAI ELECTRIC 富山事業所との連携、誘致など情報交換③となみ野農業協同組合稻種センターの種子生産の現状と課題について伺いました。

8/10 油田地区十年明自治会での講演会

十年明公民館

14:00～



talkONE(株)代表木下一哉(フリーアナウンサー)から「富山ちゃんなんちゅオモシイがけ」と題して講演。本市が取り組んでいる現状や課題など、情報を共有し意見交換を行いました。

8/12 地区自治振興会協議会と市議会との意見交換会

砺波市役所

15:00～



①空き家・空き地対策及び移住定住について(令和6年度本市の空き家総数598戸)②議会報告会について意見交換を行いました。

8/2 令和7年度富山県地域の自主防災組織リーダー研修会

砺波市役所

10:00～



①気象庁HPや「キキクル」の操作方法②自助・共助の観点から捉える災害時におけるトイレの確保、使いやすいトイレ環境が守られていることが重要であると伺いました。

8/23 令和7年度砺波市福祉健康大会

砺波市文化会館

13:30～



市立砺波総合病院がん診療部緩和ケア科部長 加登大介先生から「苦痛を和らげ生きる歓びを～緩和ケアのチカラ～」と題して講演。25年4月より緩和ケア病棟が開設しました。

8/2 8月砺波市議会定例会一般質問

砺波市議場

10:00～



①城端線を活かした観光振興策について②観光イベントの推進策について③持続可能で地域に根ざした青少年の育成について質問しました。